

博物館だより No.61

2009.5 津山郷土博物館



昭和9年9月21日 今津屋橋流失

(写真提供：森永貞朝氏)

昭和9年9月21日、室戸台風による吉井川洪水のため、今津屋橋が流失した。この時の人命救助が、当時の「津山毎日新聞」に、概要次のように載っている。

真夜中、南町一丁目の技芸学校（現作陽学園）（写真右上隅）が、増水で孤立した。投光器の明かりに浮かぶ寄宿舍から、先生・生徒二八人が、神伝流の池上猷一、八出の柳卯三郎らによって救出された。

一同安堵の夜明け方、学校上手の豚小屋の子供が一人屋根にはい上がった。同時に、家は流れ、家族の母と弟は水死した。その時、津山消防組の田口喜全は、流失寸前の今津屋橋へ駆け出し、激突して流失する瞬間、屋根に飛び乗った。屋根が重みで沈みかけるので、下の天神橋で助けるから、と言い、飛び込み南岸へ泳いだ。天神橋で両手を広げ、流れてくる子供を拾い上げた。この事は、当時の最大の美談であった。

(津山市史第7巻 P.309)

津山の古い写真をデジタル化しています。

郷土博物館で閲覧できます。

また、津山の古い写真をお持ちの方、お貸しください。

博物館資料としてスキヤニングの後、お返しします。

二 ☆デジタル化の利点

- ①コンピュータ画面から、希望する写真をすぐに検索できます。
- ②部分を拡大して見ることができ、精度のいい写真なら、小さな看板文字も読み取れます。（昔の写真はおおむね精度がよい）
- ③デジタル保存なので、画面が劣化しません。

☆ この写真を読み取り、分析・推理してみましよう。

☆写っているのは ①いつ ②どこ ③だれ、でしょう？



ヒント：全員、袴。野外で撮影。子どもの年齢と髪型。人数を数えてみてください。

◆答え◆

- ①いつ？ 明治四十五年六月。
- ②どこ？ 津山城表中門跡。
- ③だれ？ 津山女子尋常高等小学校「木船先生送別ニ当り校友会員一同鶴山ニテ記念ノ撮影」（写真裏面に記載あり）約450人？

・注：津山女子尋常高等小学校は、明治41年、男女共学の津山高等小学校（現在の文化センターの場所）から学制改正により男女分離され、山下、今の都市整備公社駐車場の場所（旧津山高等女学校の北隣）にあって、女子校・二校と愛称された。当時は、小学校が6年、高等小学校が2～3年という制度だった。6歳～15歳。この学校の学籍簿等は、いまの東小学校に引き継がれている。昭和22年、男女共学。昭和37年8月、中道小学校と統合されて東小学校と校名を改め、昭和40年4月1日に山北の現在の東小学校に移転するまで、「よい子の二校」の愛称で、山下に存在していた。（写真提供：真木昭二氏）

☆ この写真を読み取り、分析・推理してみましょう。



場所は、山下から二階町を見たところ（東から西）。右の緑地がいまの山下児童公園、当時の第二小学校（女子校）の西の端で、津山城の濠の跡。安田橋がある。女子生徒がスカート姿（前頁のはかま姿と比較）で、ランドセルを背負っている。男女共学になるのは昭和22年から。左の漆喰塀・板塀がいまの鶴山交番（山下）があるところで、当時の津山高等女学校の西の端。画面左、2階建ての2軒の家の間が、二階町と山下の境界線。正面の大屋根の家が、いまの中央記念病院（二階町）の場所で、当時この建物が何であったかによって時代が判るのだが、判然としない。病院のようには見えない。左側、道路南側を清掃しているのは、津山高等女学校の生徒で、帽子に特徴がある。路面は舗装されていないように見える。（写真提供：江見写真館）

小原千座・竹香父子関連の資料が寄贈されました。

幕末～明治に活躍した小原千座・竹香父子ちくら ちっこうに関連する貴重な資料が、ご子孫の小原弘充様（神戸市東灘区在住）から津山郷土博物館に寄贈されました。

小原家は、代々徳守神社神官を務め、父・千座（寛政5年 1793～明治元年 1868）は美作地方を代表する歌人として後進の指導にあたり、子・竹香（文化12年 1815～明治26年 1893）は勤皇の志士として全国の人士と交わり、津山のために献身的な働きをしました。

明治になってから、神官の世襲制度は廃止されましたので、小原家は津山を去ることになりましたが、このたび故郷・津山の後進のためにと、貴重な資料を寄贈していただいたものです。

資料の主なものは、本人及び師友の書簡、短歌・詩・書画作品、印、古書・古文書、その他で、津山郷土博物館で閲覧できます（現在整理中）。

（写真は竹内佑宜著「幕末の歌人小原千座・維新の志士竹香父子伝」より転載）



小原千座



小原竹香

平成21年度 津山郷土博物館行事予定

◇特別展示

- ・特別企画 「江戸一目図屏風」 ついに複製完成！初公開！
☆本物・複製同時展示 9/5(土)～10/7(水)
- ・特別展 「古い津山の写真展(仮)」
10/10(土)～11/23(月)

◇教育活動

- ・古文書講座「古文書の楽しみ2」
5/21～3/18 全9回(8・12月を除く各月第3木曜日)
- ・夏休み子ども歴史教室
「弥生土器をつくる」 7/24(金)・8/12(水)全2回
「トンボ玉を作ろう」 8/4(火)・8/5(水)
「勾玉を作ろう」 8/7(金)・8/11(火)
- ・文化財めぐり(友の会)
5/9(土)・9/12(土)・11/21(土)・2/13(土)

◇出版

- ・特別展図録「古い津山の写真展」の刊行
- ・「津山松平藩町奉行日記(十八)」
(博物館紀要第24号)の刊行
- ・津山郷土博物館年報(平成20年度)の刊行
- ・津山郷土博物館研究紀要第1号の刊行

◇広報活動

- ・「博物館だより」の発行(4回)



<事務局人事異動>

平成21年4月1日付

津山郷土博物館主任 豊島 雪絵 → 津山弥生の里文化財センター主任
津山弥生の里文化財センター主任 乾 康二 → 津山郷土博物館主任

新刊のご案内

平成20年度の新刊は次のとおりです。



- 津山松平藩町奉行日記(十七) 500円
(博物館紀要第23号)
- 津山郷土博物館年報(平成19年度)

博物館入館案内

- 開館時間：午前9:00～午後5:00
 - 休館日：毎週月曜日・祝日の翌日
12月27日～1月4日・その他
 - 入館料：一般 210円(160円)
高校・大学生 150円(120円)
中学生以下 無料
- ※()は30人以上の団体

博物館だより No.61

平成21年5月1日

編集・発行：津山郷土博物館
〒708-0022 岡山県津山市山下92
☎(0868)22-4567 ☎(0868)23-9874
E-mail: tsu-haku@tvvt.ne.jp
印刷：株式会社廣陽本社